

教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」を有する教員の養成を目指す

2022

秋

No.48

JUEN

【ジュエン】

Joetsu University of Education

国立大学法人
上越教育大学
Joetsu University of Education

学園だより

特集

高い教員就職率を支える「学校現場と連携した4年間の学び」

教育実習と 学校ボランティア

教員就職率
全国トップクラス！

学校教育学部
教員就職率

87.9%

全国第1位

令和3年3月卒業生

上越教育大学



主体的な学びを駆動する

幼児の「遊び」



研究室

へようこそ

「他者」として子どもを見る

NICU（新生児集中治療室）の看護師をしていた頃、重篤な先天性疾患を持つ赤ちゃんの両親が、苦悩しながら我が子と向き合おうとする姿を見てきました。その経験から、人が「親」になっていくプロセスに伴う葛藤を掘り下げたいと思い、30代から教育哲学の研究者を志しました。

親にとって子どもは、たとえ我が子であっても、すべてを知り尽くすことはできない「他者」であり、成長とともに親の理解を超えていく存在です。「他者」である子どもが、親の想像を軽々と超えていき、親の思い通りにはならないところが、子育ての喜びであり難しさでもあるのだと思います。

学校では、子どもの行動をコントロールしたいという欲望を持つ教師も少なからずいますが、子どもが「他者」であることを忘れずに、現場で子どもと向き合ってほしいと考えます。

幼児期は「遊び」こそが「学び」
幼稚園や保育所は、子どもを「遊ばせているだけ」と思われがちですが、幼児にとって自由

山口美和（やまぐち みわ） 学校教育学系 教授

専門は幼児教育、保育内容論、教育哲学、教育臨床学。東京大学大学院教育学研究科博士課程総合教育科学専攻単位取得満期退学。2017年4月に本学着任。近年は、自然の中での子どもの主体的な体験を重視する「森のようちえん」や「自然保育」の研究を進めている。趣味は（自分以外の人のために作る）料理とバー巡り。



な遊びこそが「学び」です。幼児教育における子どもの学びへのアプローチには、「主体的、対話的で深い学び」のエッセンスが詰まっています。子どもの自発的な活動である「遊び」は、考えたり試したりする探究の基盤となります。保育者は、子どもの探究をより深めるために子どもの考えを尋ねたり、子どものチャレンジを励ましたりして、「思考力、判断力、表現力等の基礎」や「学びに向かう力」を育てる援助をしています。保育者には、遊びを通して学びを豊かに育てるための高度な専門性が求められるのです。

子どもの「学び」は幼児期から始まっています。また、小学校低学年ごろまでの子どもには、主体的な活動を通じた試行錯誤による学びのスタイルが適しています。教師を目指す学生の皆さんには、幼児期の豊かな学びを小学校以降の学びに繋げていく視点を持って授業を構想してほしいと願っています。

上教大サイコー!!



輝く未来へ走り出せ!

こんにちは。教科内容構成コース・保健体育領域所属の高頭輝と申します。地元である新潟県で小学校の教員になるために上越教育大学に入学し、今年で3年目となりました。

大学での学び

上越教育大学では、自分の興味のあることや学びたいことに合わせて、コース・ゼミを選択することができます。現在、私は保健体育領域に所属しており、体育授業における技能習得の過程などの学習や、子どもの健康面についての研究などを行っています。同じコースの仲間とともに、これからさらに保健体育分野の専門性を高め、ここで学んだことや研究したことが将来の教員生活に役立てることができたら嬉しいです。このように、上越教育大学には様々なコースに所属する学生がおり、それぞれがあらゆる視点で教育を見つめている点がこの大学の魅力だと私は感じています。

大学で取り組んでいること

私が大学生活で力を入れていることは陸上競技部での活動です。陸上競技部では、短距離・長距離・跳躍・投擲の種目に分かれて練習をしたり、みんなでレクリエーションをしたり、地域の陸上クラブで子どもたちに教えたりなど、日々の活動を楽しみながらも、教員になる身として貴重な経験をさせていただいています。現在は部を支える立場として、各々の記録向上のためだけでなく、いかにして雰囲気良く楽しめるかという部分を模索しながら、部の運営、部員同士の関係づくりに取り組んでいます。陸上競技部での様々な活動が、将来の私にとってかけがえのない経験となるように、これから今を精一杯楽しみ、一日一日を充実させていきたいと思っています。



学部3年
教科内容構成コース
(保健体育領域)
高頭輝さん

高い教員就職率を支える「学校現場と連携した4年間の学び」 教育実習と学校ボランティア

上越教育大学は、常に全国トップクラスの教員就職率を維持しています。文部科学省から令和4年1月31日に公表された「国立の教員養成大学・学部及び国私立の教職大学院の令和3年3月卒業生及び修了者の就職状況等」において、学校教育学部の教員就職率は87.9%で、全国44大学・学部中、第1位となりました。（卒業生数から大学院等への進学者と保育士への就職者を除いた教員を母数とした場合の教員就職率）本学では、1年次から教育実習や学校ボランティアで学校現場に入る機会を設け、また、プレイスメントブラザ（Pブラ）での教員採用試験に向けた様々なプログラムの実施など、「ぜったい先生になりたい！」をかなえられるよう、大学や地域が学生一人ひとりをサポートしています。

教員就職率
全国第1位！

みなさんの「ぜったい先生になりたい！」を実現させるために、様々な学びの場を用意しています！



教育実習 （教育実地研究）

教育実地研究では、1年次から4年次まで、事前準備から事後フォローまで徹底した指導と支援を行っています。ここでは3年次の教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）の事前・事後指導の様子を紹介いたします。

教育実習（教育実地研究）の流れと指導体制

4年次	3年次	2年次	1年次	学年
教育実地研究Ⅳ （中等教育実習）	教育実地研究Ⅲ （初等教育実習）	教育実地研究Ⅱ （授業基礎研究）	教育実地研究Ⅰ （観察・参加）	科目名
大学 （事前・事後指導） 附属中学校、協力校	大学 （事前・事後指導） 附属小学校、協力校	大学	大学 （事前・事後指導） 附属幼稚園、協力校園	実習校等
中学校教育実習 （選択）	小学校教育実習 分離方式教育実習 5月に観察実習を1週間行い、4ヶ月の研究期間において、9月から3週間の本実習を行います。	模擬授業 発問・板書のしかた等	幼稚園・小学校・中学校等を訪問 教育活動を観察	内容



安心して実習に臨めるサポート体制！

安心1

教育への深い理解と愛情がある地域

- 資料探しに大学附属図書館が利用可能
- 困ったときは学校教育実践研究センターの教員スタッフ等がサポート
- 大学と実習校とが緊密に連絡をとりあえる

安心2

様々なスタッフによる指導体制

- ゼミの教員
指導案等の相談・指導、研究授業の参観
- 巡回指導教員
実習校の訪問、指導案の作成や実習全般に関わる相談
- 挨拶担当教員
実習校への挨拶・お礼
- 学校実習課
実習に関わる事務手続き、問題発生時の対応

安心3

実習中は21時まで相談可能

学校教育実践研究センターの教員スタッフが平日は21時まで、土曜日に対応する体制を整えています。だから……
その日のうちに課題や悩みを解決。問題を翌日に持ち越さない。

指導案を修正したい

食欲がない……

9月

本実習（3週間）

● 児童理解を深める。● 教材研究をする。
● 指導案を作成する。● 実習校指導員の指導を受ける。など

6月～

事後指導・研究期間

5月

事前指導

3年次 分離方式教育実習の流れ

5月上旬 観察実習事前指導

● 全体指導
教育実習「教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）」の目的、指導体制・相談会や、実習に向けての心構えについて説明を受けます。



実習校別指導

実習生長等を決めた後、互いの連絡先や緊急連絡先（巡回指導教員・実習校・学校実習課）の確認。実習生長が実習校に電話をかけます。先生に挨拶し、日時や持ち物の確認を行います。



5月中旬 実習校オリエンテーション

実習校の場所等を確認し学校職員と面談

5月下旬 観察実習（5日間）

本実習に備えて担当教諭の授業を観察し、授業や指導案について打合せを行います。

6月上旬 観察実習事後指導

● 研究期間の取組
秋の本実習に向けた日程等の確認や指導案の作成についての説明をうけます。

学びの交流とレポートの作成

観察実習の振り返りとして、担当した学級の子どもの様子や先生の学級づくりなどについて仲間と情報交換。学びを交流します。



7月上旬 確認相談会

巡回指導教員と指導案の作成をはじめ、本実習に向けての相談をします。（全員）

8月中旬 本実習事前指導

9月 本実習

9月下旬 本実習事後指導



学校ボランティア

本学では、教育現場における実践的指導力を培うために、他大学に先がけて学校ボランティア活動をいち早く授業化しました。

特に2年次の「学校ボランティアA(学校支援体験)」↓3年次の「教育実地研究Ⅲ(初等教育実習)」↓「学校ボランティアB(学校支援体験)」と継続して学校現場に関わることで、教員として求められる社会性やコミュニケーション能力を高めていきます。

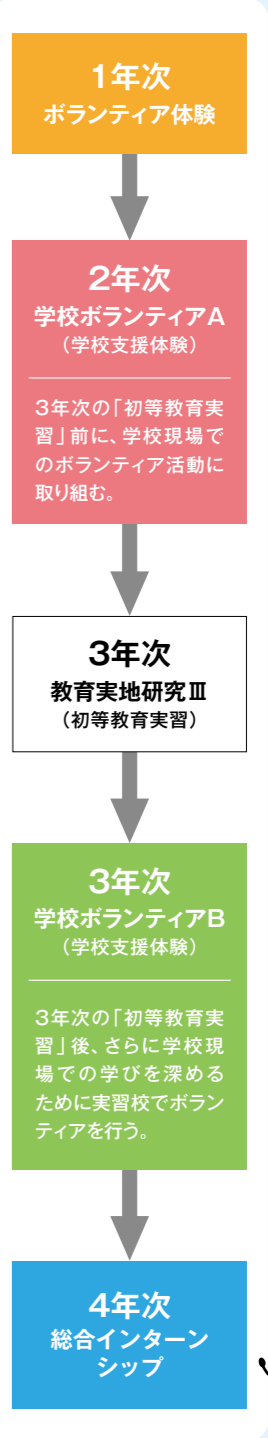
学校実習・ボランティア支援室によるサポート

教育実習、学校実習(大学院)及び学生の各種ボランティア活動を円滑に実施するための支援・危機管理等を行うことを目的として設置されています。

小中学校をはじめ、多様な機関や施設とつながりを持ち、活動を支援しています。



学校ボランティアと教育実習



プレイスメントプラザ (Pプラ)での就職支援

学生の就職支援を担当しているプレイスメントプラザでは、教員採用試験への準備のために様々なプログラムを提供しています。充実したスタッフと豊富な資料で、教員を目指す学生を強力にサポートします。

プレイスメントプラザ(Pプラ)

全国の試験問題や先輩の受験レポートなど、教採試験のための資料・教材を自由に閲覧し、学習することができます。経験豊かなキャリアコーディネーター(公立学校校長職経験者)が、学習の進め方や試験への心構えなどをアドバイスします。



教員を目指す学生を強力にサポート

キャリアコーディネーターによる指導

特任教員のキャリアコーディネーターが、論作文・自己PR文の添削指導や模擬面接(個人・集団面接、集団討論)など、学生一人ひとりの志望内容に合わせて、きめ細やかな指導を行います。



論作文指導



集団討論・集団面接指導

教員採用試験対策講座

専門の外部講師の指導により、試験対策の必須事項や効果的な学習法を学びます。



直前実技指導

実技試験対策として、体育分野の各種目、音楽実技、理科実験等の直前指導を行っています。



就職試験激励会

就職試験本番での奮闘を願い、受験直前の心構えや必勝法を指導しています。



合格祈願の激励グッズ

大学での授業科目以外に、学生が意欲をもって行う教育的なボランティア

学部生、院生 教育ボランティア

小中学校、特別支援学校をはじめ、教育機関からさまざまなボランティアの要請が来ます。また教育実習後に実習校から教育活動への支援をお願いされることも多いです。自分がやりたいボランティアを見つけ、自分の力を高めていきます。



〈活動例〉
授業や放課後学習の学習支援、個別学習支援、行事の補助、作業や事務などの先生の仕事の補助、校内の除菌作業、部活動の補助

教育実習とボランティアを通じた教員養成への動機づけと採用試験に向けたサポート



副学長(教務担当) 渡部 洋一郎先生

本学では、教育実習とボランティア活動を臨床力養成のための2本の柱とし、それらを通じて、4年間で教員になるためのモチベーションを高めています。

教育実習では、すべての学年の実習を附属学校・園と近隣の4市で実施しており、実習で不安を覚える学生へのケアも、期間中、日中や夜間を通じて日常的に行っています。そして、そのサポートにあたるスタッフは、全員が現場における豊富な実践経験や管理経験を持ち合わせているため、即効性のある的確なアドバイスを行うことができます。

また、教員採用試験対策としてPプラに全国47都道府県の教員採用試験に関する豊富なデータを揃え、模擬授業や面接、論文の作成に至るまで、専門のキャリアコーディネーターがきめ細やかな指導を行っています。

本学は地域と密着した大学で、開学時から地域全体で教員を養成していくという考えが醸成されており、教育委員会や学校現場との連携・協力体制が構築されているのも大きな強みです。

Enjoy campus life 上越 おすすめスポット

キャンパスライフをもっと楽しく!

大学からも近く、高田駅や直江津駅からアクセスの良いおすすめスポットをピックアップ!

木をふんだんに使用した
温かみのある店内の広さは、
なんと世界最大級!



無印良品

information
上越市西本町3-8-8
直江津ショッピングセンター2F
Tel 025-520-7591

あの有名な無印が、上越にもあるんです!! 衣服や生活雑貨、食料品までなんでも揃っていて、お買い物にとっても便利! 店内には食堂もあり、買い物ついでにちょっと一休みすることもできます!



▼私のおすすめは「不揃いのバウム」! 味のバリエーションが豊富なので、毎回選ぶのが楽しみです。(友達とのおしゃピクにも持ってこいの商品です。)

▲カレーも様々な種類のものがあり、手軽に食べられるので、とっても人気です!

楽しくお買い物♪
ショッピング系



後藤 公子
学部2年
現代教育課題コース
(発達と教育連携)



村田 汐里
学部2年
幼年教育コース

Eating
ガッツリ
食べたいぞしょ!
飲食系

塚原 敬太
学部2年
教科内容構成コース
(社会)

Cafe
お休みの日は
どこへ行こう?
カフェ系

蔦屋書店

information
上越市大貫4-4-22
Tel 025-527-5255



大学から車で5分のところにあり、本や雑誌だけでなく、雑貨やコスメなどの日用品なども揃っています。また、文房具がとっても充実しています!

◀本の種類が多く、学校の授業で使うのももちろん、普段使いできるものまで揃っているため、よく買いに来ます!



編集後記

今回の企画では、上越のお店について沢山知ることができました。これからは様々なおすすめスポットを見つけ、学生生活をより良いものにしていきたいです。



味も見た目もパーフェクト!



Birds INN Cafe

information
上越市大字坂1410-5
Tel 025-521-5507

大学の近くにあり、店内はアメリカンでとてもおしゃれなカフェです。ステーキやハンバーグはボリュームがあり、どのメニューもやみつきになる美味しさです。お肉が食べたくなったら絶対ここ!

◀私のおすすめメニュー「和風オムライス」は、卵のふわふわ食感とステーキの相性がとても良く、大満足の一品です。是非食べてみてください! ☺



ぶらんカフェ

information
上越市本町3-2-21
Tel 050-5484-4092

高田駅の近くにあり、落ち着いた可愛らしい雰囲気のお店です。おすすめのタコライスが目玉焼きがオリジナルで乗っていて、ひき肉の香辛料が美味しさを引き立てています!



看板メニューのタコライスは美味しくて気分もハッピーー!

熟成焼肉いちばん

information
上越市春日野2-4-21
Tel 025-522-7239



「焼き肉をたくさん食べたい!」となったら焼肉いちばんは絶対に外せません。食べ放題でメニューが豊富であり、また、大学から自転車ですぐ行けるくらい近いので、気軽に食べに行けるのも魅力的です!

▲お肉は柔らかくておいしいです!

宝来軒 参

information
上越市大豆1-12-59
Tel 025-523-1750



宝来軒 参は大学から近く、利用している学生はとても多いです。僕のおすすめは「トクつけ麺」。味噌の自家製太麺の特盛です! この自家製太麺はつるつるとしているのに加え、こしがあってとても食べ応えがあります! そして、サイズ変更が無料です!



男子バスケットボール部

日々の活動

男子バスケットボール部は週3日の練習と1日の自主練習を女子バスケットボール部とコートを半分にして活動を行っています。1日の練習時間は18時から20時30分までの2時間半で、春と秋にある北信越大会や、新潟県で開催されている大会に向けて練習しています。他にも、上越市にあるクラブチームとの市民大会にも参加させてもらっています。最近では他大学やクラブチームとの練習試合も増えてきており、とても充実した大学ライフ、バスケットボールライフを楽しんでいます！

バスケット部の良いところ！

同学年だけでなく、他学年とも仲が良いところです！いい意味で先輩後輩の上下関係が厳しくなく、楽しく活動しています。しかし、仲が良く、楽しく活動しているだけでなく、練習中には選手同士バチバチにぶつかり合うことも多くあります。部活動内での競争も激しいです。部員全員が、バスケットボールが好きだからこそ成しえる環境だと思います。最高です。

バスケット以外のことも

近年は新型コロナウイルスの影響で実施できていませんが、夏には男女バスケットボール部合同でバーベキューを行ったり、春にはバスケットボール部以外の人たちを呼んで一緒にバスケットボールを楽しむ「月バス」というものを行ったりしています。部活後に少人数でご飯に行くことも多く、部活動以外のことで仲を深めています。

経験者の方はもちろん、バスケットボールに興味がある方なら大歓迎です！僕たちと一緒にバスケットボールをしましょう！



DATA 令和4年7月現在

部員数／
プレイヤー15人
マネージャー3人 計18人

活動日／
月、火、金曜日の練習、木曜日の自主練習

活動場所／体育館

活動実績／
天皇杯一回戦突破
本間杯出場

【取材協力者】
学部3年
先端教科・領域学習コース(教科横断) 浅井幸樹

DATA 令和4年7月現在

部員数／
学部生46人、院生2人、看護大生12人 計60人

活動日／
毎週月・金曜日(演奏会前は水曜日)

活動場所／
音楽棟101教室 他

活動実績／
年3回の自主公演、小中学校での楽器指導、地域での依頼演奏等

【取材協力者】
学部3年
教科内容構成コース(国語)
國友美里

吹奏楽団

たくさんの演奏機会

私たち吹奏楽団は、春のスプリングコンサート・夏のサマーコンサート・冬の定期演奏会の3つの自主公演を活動の柱とし、他にも小中学校での楽器指導や、地域での依頼演奏など多くの場で演奏の機会をいただいています。団員同士で音と心を合わせ、演奏が終わった後にお客様から大きな拍手をいただける喜びは、かけがえのない思い出になります。

今年度の団目標

私たち吹奏楽団は、昨年度創立40周年を迎え、令和4年12月17日(土)に、上越文化会館にて、記念となる第40回定期演奏会を開催いたします。多くの方の支えがあって、こうして活動できていることに感謝です。

今年度の団目標は、「わ～みんなでつながる みんなとつながる～」です。私たち団員同士はもちろん、演奏を聴いてくださるお客様など、私たちと関わるすべての人やものにつながっていきたいという想いを込めまし

た。これまでの皆様とのつながりを大切に、これからも私たちらしい音楽をお届けできればと思っています。

音楽でつながる仲間たち

吹奏楽団は、学内でも比較的規模の大きい部活動です。学部1年生から院生まで多くの学生が在籍しています。また、上越教育大学の学生だけでなく、新潟県立看護大学の学生も一緒に活動しています。学年や大学の垣根を越えて、交流を深めることができるのが吹奏楽団の大きな魅力です。団員の多くは中学・高校等での吹奏楽経験がありますが、なかには大学生になって初めて楽器を始めた人や、新しい楽器に挑戦している人もいます。初心者・経験者関係なく、全員でひとつの音楽を作り上げようと頑張っています。

経験者もそうでない人も、音楽が好きであれば大歓迎です！ 私たちと一緒に音楽を楽しみましょう！



上越教育大学

附属幼稚園

附属学校だより

太陽・土・水が 大好きな子ども

幼児にとって、遊びは「学び」。「生きる力の基礎」を育むため、幼児の主体的な遊びを大切にしている園です。職員は「幼児は自ら育とうとする存在である」という子ども観のもと、幼児の育ちを支える保育に、日々愛情と情熱を注いでいます。



園舎の裏は大きな森。思い切り自然と親しんでいます。



園庭の木になる実は、採って食べることもできます。



雨の日でも外で元気に遊んでいます。



いろいろな道具を使って遊んでいます。



四季折々の遊びが楽しめます。



生き物を捕まえて遊べる池があります。



異年齢でかかわって遊んでいます。

幼児教育研究会

期日 令和4年9月30日(金)

日程 午前…公開保育・保育トーク
午後…研究発表・講演会

講師 京都大学大学院 文学研究科
准教授 森口佑介様

本園のホームページは以下のQRコードよりご覧いただけます。



※時間は、いずれの日も9時30分～14時です。ぜひおいでください。

園庭開放日(にじみDAY)

5月20日・27日
6月3日・10日・18日・24日
7月1日・4日・5日・6日・8日・15日
9月2日・9日
1月12日
2月3日・14日・15日・16日

預かり保育

登園前7時40分から降園後19時まで、預かり保育を実施しています。

給食(ハッピーランチ)

月・火・木・金の週4回、給食を提供しています。



修了生からの
お便り



夢、 あきらめない先生



私は平成29年度より2年間、修士課程特別支援教育コースでお世話になりました。「小学校の先生になりたい」という夢をいだけて入学した上越教育大学。学部での小・中学校の教育実習を経て、通常学級には特別な教育的支援が必要な子どもたちが一定数いることを知り、特別支援教育という分野に興味をもちました。「もっと知りたい!」という気持ちから進学した大学院は、新しい学びの連続でも充実した2年間を過ごすことができました。

在学中の2年間は、池田吉史先生の研究室に所属し、ご指導いただきました。「児童生徒の自立と社会参加に必要な適応行動を高めるために、彼らの実態把握や支援方法を知性的・中核的な要素である知的機能・実行機能・社会機能の3つの観点から考える」という研究室のテーマに関連した研究や臨床実習にゼミ生みんなで取り組んだことは、かけがえのない思い出となっています。そして、これらの経験が特別支援教育のおもしろさや大切さ、学校現場での必要性をより一層強く感じさせてくれたため、今の自分の進路を決めるきっかけになりました。

大学院を修了し、念願だった特別支援教室(通級指導教室)の教員になって4年。自立活動の「個々の児童が自立を目指す、障害による学習上の困難又は生活上の困難を主体的に改善・克服するため



笹川 美智
(ささがわ みさと)

新潟県五泉市出身。上越教育大学学校教育学部卒業。学部卒業後、平成29年度上越教育大学大学院に入学。学校教育研究科学校教育専攻特別支援教育コースに在籍。大学院修了後は、新採用で東京都杉並区立松ノ木小学校に特別支援教室(通級指導教室)の教員として勤務。現在は、江東区立有明西学園にて同じく特別支援教室の教員として勤務している。

に必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う」という目標に向かう道の選択の多さに悩みながらも、「あきらめないぞ」と自分を励ましながら日々働いています。

この原稿のタイトルを決めるにあたって大学院時代の荷物を整理していると、在学中に縁あって写真を載せていたいたポスターを見ました。見返すと、そこには、「5年前の自分と「夢、先生」のフレーズが。「今の自分がなりた姿は何だろうか?」と考え、決めました。これからは、「夢、あきらめない先生」を目標に一層精進していきたいと思えます。

上教大 なんでも 掲示板

来場型では3年振りとなる オープンキャンパスを開催

7月30日(土)、本学を会場に、高校生やその保護者など進学希望者を対象にしたオープンキャンパスを3年振りに開催し、約200名が参加しました。

今年度のオープンキャンパスでは、キャンパスツアーと題し、在学生の案内のもとキャンパス内の見学を行いました。また、ミニ講義、個別相談コーナーや、キャンパス内にある学生宿舎の見学も実施しました。

参加者からは、「とても大学選びの参考になったと思います。明るい校風で、先輩方がキラキラして見えました。」「ミニ講義が面白く、先生になりたいとより強く思いました。」という感想が寄せられました。

また、今年度は対面式のオープンキャンパスに加え、ミニ・オープンキャンパス(10月開催予定)やWEBオープンキャンパス(現在公開中)も開催します。



上:キャンパスツアーで案内をする学生スタッフと参加者
下:ミニ講義で登壇した水落副学長

上越教育大学と東京書籍が ネーミングライツに関する協定を 締結

本学と東京書籍株式会社(本社:東京都北区、代表取締役社長:渡辺 能理夫、以下「東京書籍」)は、大学施設のネーミングライツ(施設命名権)取得に関する「国立大学法人上越教育大学ネーミングライツに関する協定書」(以下「本協定」)を締結しました。

令和4年9月から令和7年8月まで、「附属図書館 アクティブラーニングスペース」の愛称は「東京書籍 Edu Studio(エデュスタジオ)」となり、本学としては、初のネーミングライツ施設になります。

本協定を機に、東京書籍により、学生がデジタル教科書を体験できて操作方法のサポートも受けられるコーナーが施設内に開設されました。

9月2日(金)には「東京書籍 Edu Studio」のスタートを記念し、記念式典が執り行われました。



本学教員が学会賞等 を受賞



第3回洋画写真実コンクール 特別優秀賞
受賞作品:花・初恋(油彩F20号)
伊藤将和 准教授



大学英語教育学会褒賞(学会賞) 優秀賞
対象業績:A Pragmatic Approach to English Language Teaching and Production(東京:風間書房, 2019)
ブラウン, アイヴァン 准教授(ほか)

J-style 通信



教員・教師になるということ

学長 林 泰成

この文章が活字になるころには、もう教員採用試験の結果は出ているでしょうか。
 本学は教育大学ですから、ほとんどの卒業生・修了生が教員になります。しかし、教員になればそれで人生の目的が達

せられたのかというと、そうではないでしょう。むしろ、そこがスタートです。教員になっても継続的な学びは必要です。
 文部科学省は、大学における教員養成とは区別して、現職教員の絶えざる成長支援を教員育成という言葉で表現しています。そして、大学が教員養成のためのスタンダードを作っているのと同様に、各教育委員会は、教員育成指標を作っています。もう少し具体的に言うと、育成指標では、4〜5つのステージに分けて、それぞれの段階で求められる資質能力が示されています。
 こうした指標を見ながら思うのは、おそらく教員個々の思いとしては、もっとたくさんの願いや夢があるのではないかと思います。たとえば、「私は、理科が好きだから、理科で活躍できる教員になりたい」とか、「サッカー部の部長としてプロを目指すような生徒を育てたい」とか、「合唱をとおして学級づくりをしたい」とか、「自分の考えた授業方法によって子どもたちの能力を高めた」とか。もちろん、育成指標で求められる基礎的な能力の開発は必要なことですが、その中でも抜きん出たところをアピールしつつ、教員としての生涯を全う

しようというようなキャリアデザインを描く人は多いのではないのでしょうか。子どもたちが、自らの将来を描こうとするときに選択する職業は、身近な人物や、テレビなどで見知っている人物の職業であることが多いのです。ということは、子どもたちにとって、教員も将来なりたい職業の一つになります。事実、いろいろなデータを見ると、教員は、将来なりたい職業のトップ10に入っています。

にもかかわらず、教員のなり手が少ないというのはなぜでしょうか。それほど自分の教えている子どもが、教師にあげられて教師になるということは教師冥利に尽きることに私は思います。ここでは、あえて、教員を教師と表現しました。「師」という語には、尊敬に値する存在というニュアンスが含まれていると考えたからです。(ちなみに、大学教員にとっても、自分が追究してきた課題を引き継いでくれる教員がいるということとはうれしいものです。)
 さて、皆さんは、どんな教員・教師になりたいですか。

大学院同窓会

大学院同窓会評議会報告



令和4年度大学院同窓会評議会が、令和4年7月16日に対面およびオンラインのハイブリッドで開催された。

令和2年、3年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面による審議で行われていたため、3年ぶりに顔を合わせての実施となった。

山本浩昭会長、荒川圭子副会長、遠藤和英副会長をはじめ、4つの支部の代表の方々から、ご多忙の中、ご出席いただいた。

最初に、各支部から、コロナ禍による問題だけでなく、現職派遣がなくなった都道府県もあることで支部の活動を継続する後継者がおらず、活動を継続することが難しくなっていることなどの近況報告があった。

次に昨年度の事業について、学生修学支援事業としてコロナ対策特別補助などを行ったことの報告が行われ、承認された。

決算報告では、新型コロナにより評議会が書面審議となったため、評議会会議費の支出がなかったこと、また、各支部で活動を行うことが難しい状況であったため、支部活動費助成が予算額よりも大幅に減額であったことなどが報告され、承認された。

同窓会役員については、提案どおり承認された。大きな変更点としては、今年度からの大学院改革に伴い、大学院生による評議員が令和3年度以前と令和4年度以降の教育組織から選出されたことである。

今年度の事業計画及び予算案については、昨年度までと同様に本学に関する各種助成として、院生協議会助成や支部活動助成、また、引き続き学生修学支援事業としてコロナ対策特別補助を行うことなどが提案され、承認された。

昨年度の評議会（書面審議）で承認された学部同窓会と大学院同窓会との統合は、令和5年6月1日からとすることが承認されたことから、今後の上越教育大学の発展に向けて同窓会の在り方について、引き続き検討していく必要性が示された。

上越教育大学大学院同窓会 事務局

修了生の住所等をお知らせください

転居・転職・結婚等により個人情報の変更があった場合は、お知らせください。
 詳細については、公式ホームページをご覧ください。
 お問い合わせ先／上越教育大学大学院同窓会事務局
 E-mail / dousoukai@juen.ac.jp

上越教育大学 同窓会

ご寄附のお願い - 教員養成を通して皆様の思いを将来ある子どもたちに -

上越教育大学リサイクル募金
 ご寄附の詳細などはこちら▼
kishapon.com/juen/

上越教育大学基金
 ご寄附の詳細などはこちら▼
juen.ac.jp/300kikin/

インタビュー

大学院

で

輝く人

大学院2年

教科教育・学級経営実践コース

教科教育実践領域

鈴木 伶央 さん

大学院入学の理由

教員になるという夢を追い、大学で中学校（社会）・高校（公民・商業・情報）の教員免許状を取得しました。しかし、小学校教員である家族と話す中で小学校教員の魅力を感じ、なりたいと考えるようになりました。そんなタイミングで、大学と提携を結んでいる上越教育大学大学院のサテライト講座に参加し、教育職員免許取得プログラム（免P）があることを知りました。小学校の教員免許を取得するだけでなく、自分の興味関心のあることも学ぶことができるため、進学を決意しました。

大学院での学び

私は、大学院に入り現場の先生対象のセミナーの講師をしたり、学校支援プロジェクトで連携協力校の課題解決に向けて活動したりしています。教職大学院ならではの経験で、新たな学びを実感する毎日です。

今は、教員採用試験に向けて勉学に励んでいます。本大学院は教員採用試験に対する支援も充実しています。Pプラ（プライズメントプラザ）では、論作文や面接の指導をはじめとする試験対策への支援や全国の教員採用試験に関わる情報を取り扱っています。教員になるという同じ志

を持つ仲間と一緒に学べる環境が整っていることも本学の魅力であると感じています。

最後に

大学院に進学し、忙しいながらも充実した毎日を過ごしています。教育実習や学校支援プロジェクトを通して、子どもへの関わり方や教育観について考える時間が増え、自分のなりたい教員像がはっきりしたと感じています。

大学院修了後、子どもたちから信頼される教員になれるように、残りの大学院生活を実りのあるものにしていきたいと思います。



インタビューを終えて

ゼミの一員である鈴木さんとは、模擬授業をしあったり、問題解決の為に議論を交わしたりと協働的に学んでいます。また、悩み事を相談できる仲間でもあります。今後お互い切磋琢磨しながら成長していきたいです。

■聞き手・文(写真右)
大学院2年
教科教育・学級経営実践コース
教科教育実践領域
伊澤 宏樹

免P = 教育職員免許取得プログラム

本学大学院入学者で、教員免許を持っていない方や他校種、他教科の教員免許を取得したい方を対象に、長期履修学生制度を利用し、2年分の学費で3年間に在学し、大学院の教育課程と学部の教員養成カリキュラムの単位を修得することにより、教員免許状を取得することができるプログラムです。



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

アンケートにご協力ください
公式ホームページにおいて本誌に関するアンケートを実施しています。左のQRコードを読み込むことで、携帯端末からご回答いただけます。アンケートにお答えいただいた方には粗品をお送りいたします。(先着10名様)



JUEN 上越教育大学学園だより
2022 秋 No.48 (令和4年9月発行)

編集・発行

上越教育大学情報・広報委員会

デザイン・監修

安部 泰

(芸術・体育教育学系 准教授)

制作

株式会社 桐朋

お問い合わせ先

上越教育大学 広報課

〒943-8512

新潟県上越市山屋敷町1

TEL 025-521-3626

FAX 025-521-3627

E-mail kouhou@juen.ac.jp

URL <https://www.juen.ac.jp/>

公式ホームページから、バックナンバーの閲覧ができます。

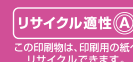
※本誌掲載の文書・記事・写真等の無断転載はお断りします。



Facebook
はじめました



Instagram
はじめました



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。